

 日本郵政

- 純粋持株会社としての機能のほか、病院事業、宿泊事業及びグループシェアード事業により、経常収益 1,731億円、経常利益 775億円、中間純利益 780億円を計上

 日本郵便

- 総取扱物数は、郵便物 91億5,756万通（公社19/9期比△3.0%）、ゆうパック 1億3,255万個（同△0.8%）、ゆうメール 10億7,867万個（同+3.1%）
- 営業の形態として下期のウエイトが高く、利益が下期に偏る傾向にあるため、経常収益 8,588億円（公社19/9期比△2億円）、経常損失 204億円（同+117億円）、中間純損失 189億円

 郵便局

- 郵便局における順調な営業活動（貯金残高の純増拠点の拡大、新規保険契約の増加等）の成果等により、経常収益 6,515億円（20/3期比+171億円）、経常利益 380億円（同+194億円）を計上
- 中間純利益は 209億円（20/3期比+162億円）

 ゆうちょ銀行

- 積極的な営業展開により、貯金残高 178兆5,613億円（20/3末比△3.1兆円 減少幅は縮小（19年下期約△5兆円））、貯金残高（未払利子込み） 179兆1,311億円（同△3.2兆円）
- 経常収益 1兆2,803億円（20/3期比△485億円）、経常利益 2,520億円（同△41億円）、中間純利益 1,501億円（同△20億円）
- 業務純益 2,812億円（20/3期比△207億円）、自己資本比率（パーゼルII） 90.78%

 かんぽ生命

- 新商品販売等のサービス拡充により、個人保険の新規契約件数は90万件（20/3期比+30万件）
- 経常収益 7兆3,151億円（20/3期比△3,717億円）、経常利益 1,063億円（同+943億円）、中間純利益 247億円（同+170億円）
- 保険料収入 3兆9,782億円（20/3期比+916億円）、基礎利益 2,298億円（同△374億円）、内部留保残高（価格変動準備金、危険準備金）3兆5,596億円、ソルベンシー・マージン比率1,357%



連結経常収益

9兆4,868億円

連結経常利益

4,225億円

連結中間純利益

2,224億円

連結総資産

322兆9,380億円

連結純資産

8兆4,419億円